



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）



2025年11月13日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 4681 URL <https://www.resorttrust.co.jp>  
 代表者（役職名）代表取締役 社長執行役員（氏名）伏見 有貴  
 問合せ先責任者（役職名）専務執行役員 業務部門管掌 兼CCO（氏名）井内 克之（TEL）(052)933-6519  
 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 2025年12月12日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向けIR電話会議）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	110,950	3.0	12,415	8.6	12,449	8.1	8,620	14.6
2025年3月期中間期	107,725	20.5	11,433	47.0	11,512	44.5	7,522	23.6

（注）包括利益 2026年3月期中間期 7,219百万円（△11.8%） 2025年3月期中間期 8,187百万円（△4.5%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	40.67	—
2025年3月期中間期	35.60	—

潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

当社は2025年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行いました。1株当たり当期純利益の計算においては2025年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定した上で算定しております。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	512,680	154,427	28.9
2025年3月期	492,949	150,742	29.3

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 147,990百万円 2025年3月期 144,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	27.00	—	35.00	62.00
2026年3月期	—	17.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	17.00	34.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は2025年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行いました。前期2025年3月期の配当金は株式分割前の金額であります。

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	260,000	4.3	29,000	10.0	29,000	8.0	20,300	0.8	95.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無  
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	217,041,598株	2025年3月期	217,041,598株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	4,721,101株	2025年3月期	5,220,356株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	211,948,086株	2025年3月期中間期	211,328,918株

(注)当社は2025年4月1日を効力発生日として1株につき2株の割合で株式分割を行いました。2025年3月期期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式総数(普通株式)を算定しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-I R資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(https://www.resorttrust.co.jp/ir/)

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 中間連結貸借対照表 .....	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

①当中間連結会計期間の概況

	前中間 連結会計期間 (実績)	当中間 連結会計期間 (実績)	当中間 連結会計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	107,725百万円	110,950百万円	110,400百万円	+3.0%	+0.5%
営業利益	11,433百万円	12,415百万円	10,600百万円	+8.6%	+17.1%
経常利益	11,512百万円	12,449百万円	10,600百万円	+8.1%	+17.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益	7,522百万円	8,620百万円	7,100百万円	+14.6%	+21.4%
(参考) 評価営業利益	15,278百万円	19,134百万円	15,800百万円	+25.2%	+21.1%

[前年同期比]

前年同期(2024年4月～9月)には、会員権事業において、「サンクチュアリコート琵琶湖」、「サンクチュアリコート日光」及び既存ホテル会員権の再販を中心に、ホテル会員権の販売が好調でありました。当期間(2025年4月～9月)では、2025年3月から販売を開始している「サンクチュアリコート金沢」に加え、2025年6月には「サンクチュアリコート淡路島」の会員募集を開始したこともあり、未開業ホテルの契約が中心となりましたが、前年同期を上回る契約実績であったこと、メディカル事業において、ハイメディック会員の増加に伴う会費収入の積み上がりが収益へ貢献したこと、ホテルレストラン等事業において、新規開業したホテルの収益貢献に加え、運営管理費(年会費)や利用料(室料)などの価格改定などにより、ベースアップや新規施設開業に備えた人員増等に伴う人件費の増加などによるコストアップを吸収し、リゾートトラストグループ全体として、「増収増益」となりました。前年同期には、開発用地取得に関わる「のれん」の減損を含む減損損失(約17億円)があったため、当期の親会社株主に帰属する四半期純利益は+14.6%増となりました。また、不動産収益の繰延影響を除いた実力値を示す「評価営業利益」は、新規で販売開始したホテル会員権の販売好調により+25.2%増と大きく進展しております。

[計画比]

※「計画」は、2025年5月15日付の業績予想に基づきます。なお、本日付で業績予想を上方修正しております。

計画に対しては、全ての事業セグメントにおいて、利益計画を上回りました。会員権事業においては、新規の会員募集が好調でありました。ホテルレストラン等事業においては、各種処遇向上策が奏功し生産性向上につながりました。メディカル事業においては、検診事業の会員募集や一般健診事業が想定を上回りました。全社において、好調な業績を背景に、社員への還元、株主への還元を拡大することを決定しております。

(参考「評価営業利益」とは、未開業ホテルの会員権販売において、会員権代金の内「不動産代金」は、開業時に一括収益認識されることから、会計上、開業時まで繰延べられますが、その繰延利益が当会計期間中に計上されたと仮定した時の利益を表し、当会計期間における実力値を示す経営指標として活用しております。)

[全体概況]

当中間連結会計期間における、当社グループの状況は、前年度に引き続き、ベースアップや事業拡大に備えた採用強化を継続実施しました。これらの先行的なコストの増加は、一部の商品(会員権、運営管理費、室料、食事代金等)の価格を見直すことや、DX経営の推進、人的資本経営の推進による「生産性の向上」により賄ってまいります。会員募集については、好調が継続しており、ホテル会員数、メディカル会員数の増加に伴う増収や2024年10月に開業した「サンクチュアリコート琵琶湖」の稼働が増収に寄与しておりますが、その一方で、未開業ホテルの不動産収益は開業まで繰延べられるため会計上の売上高は+3.0%増にとどまりました。(実力ベースの評価売上高は、+11.2%増)

この結果として、売上高は110,950百万円(前年同期比3.0%増)、営業利益は12,415百万円(前年同期比8.6%増)、経常利益は12,449百万円(前年同期比8.1%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は8,620百万円(前年同期比14.6%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ②セグメントの業績概況

### 【会員権事業】

	前中間連結会計期間 (実績)	当中間連結会計期間 (実績)	前年同期比
売上高	31,193百万円	28,018百万円	△10.2%
セグメント利益	10,960百万円	9,624百万円	△12.2%

会員権事業におきましては、2025年3月から販売を開始している「サンクチュアリコート金沢」に加え、2025年6月には「サンクチュアリコート淡路島」の会員募集を開始し、会員権販売が好調に推移した一方で、前年同期には既存ホテル会員権の販売割合が増えて利益率が高まっていたことに比べ、当期は不動産収益の大部分が繰延べられていることなどから、契約高は前年同期を上回りましたが、会計上の期間損益では減収減益となりました。

### 【ホテルレストラン等事業】

	前中間連結会計期間 (実績)	当中間連結会計期間 (実績)	前年同期比
売上高	51,002百万円	55,264百万円	+8.4%
セグメント利益	1,758百万円	3,555百万円	+102.1%

ホテルレストラン等事業におきましては、2024年10月に開業した「サンクチュアリコート琵琶湖」の稼働が増収に寄与したことに加え、運営管理費(年会費)や利用料(室料)などの価格改定などにより、ベースアップや新規施設開業に備えた人員増等に伴う人件費の増加などによる先行的なコストアップを吸収し、増収増益となりました。

### 【メディカル事業】

	前中間連結会計期間 (実績)	当中間連結会計期間 (実績)	前年同期比
売上高	25,189百万円	27,313百万円	+8.4%
セグメント利益	3,854百万円	3,982百万円	+3.3%

メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権募集が順調に推移し、会員の増加に伴う年会費収入等が増加したこと、一般健診事業の設備の拡張や事業所の拡大などにより、増収増益となりました。

### 【その他】

	前中間連結会計期間 (実績)	当中間連結会計期間 (実績)	前年同期比
売上高	339百万円	353百万円	+4.0%
セグメント利益	365百万円	337百万円	△7.7%

「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

中間連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当中間連結会計期間末の総資産は512,680百万円(前連結会計年度比4.0%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、会員権販売に伴うローン債権の増加により、割賦売掛金が12,255百万円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当中間連結会計期間末の負債合計は358,253百万円(前連結会計年度比4.7%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、未開業物件のホテル会員権販売が増加したことに伴い、前受金が18,801百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は154,427百万円(前連結会計年度比2.4%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が4,883百万円増加したことなどによるものであります。その結果、当中間連結会計期間末における自己資本比率は28.9%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

※業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しております。従いまして予想に内在する不確定要素や今後の事業運営における状況変化等により、実際の売上高及び利益は当該予想と異なる数値となる可能性があります。本日(2025年11月13日)に開示した業績予想は以下の通りです。

2026年3月期 通期連結業績予想数値(2025年4月1日~2026年3月31日)

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比	当連結会計年度 (前回予想)
売上高	249,333百万円	260,000百万円	+4.3%	259,000百万円
営業利益	26,365百万円	29,000百万円	+10.0%	27,500百万円
経常利益	26,848百万円	29,000百万円	+8.0%	27,500百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,139百万円	20,300百万円	+0.8%	19,000百万円
評価 営業利益	26,161百万円	33,010百万円	+26.2%	29,465百万円

当社グループは、新たに「2025年4月~2030年3月までの中期5ヵ年経営計画」を策定し、「新しい会員制事業モデルの確立」を目指しております。

当期の見通しについては、会員権事業において、2025年6月に新たに「サンクチュアリコート淡路島」の会員権販売を開始したほか、2026年2月(予定)に会員制リゾートホテル「サンクチュアリコート日光」が開業を迎えることで、それまで繰延べられている不動産収益が一括計上されること、また、ホテルレストラン等事業、メディカル事業において、会員数、登録数、関係顧客の増加と、高付加価値な新サービスの開発と提供による単価の上昇等により運営収益が拡大することに加え、ベースアップ含む賃金の上昇を継続し、更なる生産性と創造性の向上を目指した好循環を産み出すことなどから、当社グループ全体として売上高260,000百万円(前年同期比4.3%増)、営業利益29,000百万円(同10.0%増)、経常利益29,000百万円(同8.0%増)と過去最高の売上高と営業利益、経常利益を更新し、増収増益を見込んでおります。また、当期においては、前期に計上があった債券の償還益など特別利益が剥落するため、親会社株主に帰属する当期純利益は、20,300百万円(同0.8%増)とわずかな増益に留まることを見込んでおります。

なお、本日付けで、会員権販売好調など直近の業績状況を鑑み、業績予想、配当予想を上方修正しております。

配当金の予想については、中間配当金、期末配当金(予想)をそれぞれ1円、年間で2円増配修正しました。中間配当金は17円、期末配当金は17円(今回予想)とし、年間配当金額は、分割前で比較しますと、前年同期に比べ実質6円増配の年間配当金68円(今回予想)となり、過去最高の配当金額となる見込みであります。(分割後の比較では 前年31円 当期34円(今回予想))

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,352	30,621
受取手形、売掛金及び契約資産	12,763	12,890
割賦売掛金	91,706	103,961
営業貸付金	15,184	12,410
有価証券	5,893	7,558
商品	1,334	1,411
販売用不動産	3,948	4,228
原材料及び貯蔵品	2,050	2,138
仕掛販売用不動産	25,699	28,309
リース投資資産	3,211	3,009
その他	7,119	8,966
貸倒引当金	△873	△930
流動資産合計	196,390	214,574
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	107,542	104,474
機械装置及び運搬具(純額)	2,533	2,424
コース勘定	7,712	7,714
土地	50,823	50,893
リース資産(純額)	4,495	4,526
使用権資産	12,698	11,517
建設仮勘定	14,066	18,555
その他(純額)	4,760	4,790
有形固定資産合計	204,633	204,896
無形固定資産		
のれん	526	310
ソフトウェア	3,333	3,196
その他	2,402	2,897
無形固定資産合計	6,261	6,404
投資その他の資産		
投資有価証券	33,818	34,196
関係会社株式	1,397	1,405
長期貸付金	4,537	4,387
退職給付に係る資産	1,452	1,418
繰延税金資産	21,363	21,482
その他	23,511	24,332
貸倒引当金	△418	△417
投資その他の資産合計	85,663	86,805
固定資産合計	296,558	298,106
資産合計	492,949	512,680



(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,869	1,645
短期借入金	4,811	7,469
1年内返済予定の長期借入金	654	654
リース債務	1,514	1,440
未払金	12,903	11,493
未払法人税等	7,113	4,955
未払消費税等	2,892	2,422
前受金	107,225	126,027
前受収益	17,191	12,337
債務保証損失引当金	25	19
ポイント引当金	424	457
その他	13,377	12,460
流動負債合計	170,005	181,384
固定負債		
長期借入金	2,531	2,204
リース債務	23,994	22,786
繰延税金負債	76	72
役員退職慰労引当金	22	22
株式給付引当金	865	939
退職給付に係る負債	3,234	3,401
長期預り保証金	29,314	28,806
償却型長期預り保証金	106,681	112,975
その他	5,480	5,658
固定負債合計	172,201	176,869
負債合計	342,207	358,253
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	21,613	21,556
利益剰余金	98,359	103,243
自己株式	△4,919	△4,513
株主資本合計	134,644	139,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,489	2,887
為替換算調整勘定	6,055	4,263
退職給付に係る調整累計額	1,129	962
その他の包括利益累計額合計	9,674	8,113
非支配株主持分	6,424	6,437
純資産合計	150,742	154,427
負債純資産合計	492,949	512,680



(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	107,725	110,950
売上原価	15,062	12,435
売上総利益	92,662	98,514
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	33,286	34,959
役員退職慰労引当金繰入額	13	0
修繕維持費	2,808	3,085
貸倒引当金繰入額	4	58
債務保証損失引当金繰入額	-	△5
水道光熱費	4,028	4,101
減価償却費	4,136	4,451
その他	36,951	39,446
販売費及び一般管理費合計	81,229	86,098
営業利益	11,433	12,415
営業外収益		
受取利息	369	435
受取配当金	58	68
持分法による投資利益	8	9
貸倒引当金戻入額	7	1
債務保証損失引当金戻入額	4	-
為替差益	2	5
助成金収入	101	28
その他	139	136
営業外収益合計	691	685
営業外費用		
支払利息及び社債利息	139	245
シンジケートローン手数料	23	23
控除対象外消費税等	248	223
その他	200	159
営業外費用合計	611	651
経常利益	11,512	12,449

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	22	17
関係会社株式売却益	1	4
投資有価証券売却益	2,217	34
有価証券償還益	213	516
特別利益合計	2,454	573
<b>特別損失</b>		
固定資産売却損	2	2
固定資産除却損	12	19
減損損失	1,799	-
その他	5	2
特別損失合計	1,819	24
税金等調整前中間純利益	12,148	12,998
法人税、住民税及び事業税	5,724	4,445
法人税等調整額	△1,259	△227
法人税等合計	4,465	4,218
中間純利益	7,683	8,780
非支配株主に帰属する中間純利益	160	159
親会社株主に帰属する中間純利益	7,522	8,620

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	7,683	8,780
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,964	398
為替換算調整勘定	2,553	△1,792
退職給付に係る調整額	△84	△167
その他の包括利益合計	504	△1,561
中間包括利益	8,187	7,219
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	8,027	7,059
非支配株主に係る中間包括利益	160	159

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	12,148	12,998
減価償却費	4,575	5,068
減損損失	1,799	-
のれん償却額	212	215
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5	55
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	56	△42
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	21	0
受取利息及び受取配当金	△427	△503
支払利息及び社債利息	139	245
為替差損益(△は益)	24	14
固定資産売却損益(△は益)	△20	△15
売上債権の増減額(△は増加)	△3,122	△9,636
棚卸資産の増減額(△は増加)	△14,454	△3,264
仕入債務の増減額(△は減少)	△72	△198
未払金の増減額(△は減少)	△8,364	△355
前受金の増減額(△は減少)	22,299	18,878
長期預り保証金の増減額(△は減少)	3,346	5,787
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,192	△268
リース投資資産の増減額(△は増加)	280	45
その他	△5,128	△7,738
小計	14,500	21,289
利息及び配当金の受取額	509	447
利息の支払額	△141	△171
法人税等の支払額	△4,099	△6,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,768	15,063
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	-	△300
有価証券の売却及び償還による収入	5,757	4,904
投資有価証券の取得による支出	△7,061	△5,881
投資有価証券の売却及び償還による収入	3,407	45
関係会社株式の取得による支出	-	△0
関係会社株式の売却による収入	5	7
有形及び無形固定資産の取得による支出	△12,261	△9,215
有形及び無形固定資産の売却による収入	748	18
貸付けによる支出	△1,049	△87
貸付金の回収による収入	183	237
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△457	-
その他	△1,099	△869
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,825	△11,140

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	10,281	2,649
長期借入れによる収入	1,094	-
長期借入金の返済による支出	△8,507	△327
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△3,090	△3,736
非支配株主への配当金の支払額	△152	△146
セール・アンド・リースバックによる収入	-	387
その他	△765	△637
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,142	△1,813
現金及び現金同等物に係る換算差額	117	△110
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,081	1,999
現金及び現金同等物の期首残高	32,260	28,894
現金及び現金同等物の中間期末残高	30,179	30,893

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	31,193	51,002	25,189	107,385	339	107,725
セグメント間の内部売上高又は振替高	△24	2,211	418	2,606	1,115	3,721
計	31,169	53,213	25,608	109,991	1,454	111,446
セグメント利益	10,960	1,758	3,854	16,573	365	16,939

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	16,573
「その他」の区分の利益	365
全社費用(注)	△5,505
中間連結損益計算書の営業利益	11,433

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル事業	その他	全社・消去	合計
—	1,799	—	—	—	1,799

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,018	55,264	27,313	110,596	353	110,950
セグメント間の内部売上高又は振替高	15	2,471	575	3,062	799	3,861
計	28,034	57,736	27,889	113,659	1,152	114,811
セグメント利益	9,624	3,555	3,982	17,162	337	17,499

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	17,162
「その他」の区分の利益	337
全社費用(注)	△5,083
中間連結損益計算書の営業利益	12,415

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。